［バード・ウエル］
Bird-Well
vol.30
2023
討議資料
秋田県議会議員 鳥井おさむ後援会だより

あけまして おめでとうございます

鳥井（とりい）おさむ 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで輝かしい初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。日頃より私の政治活動および後援会活動に対しご理解とご協力、また、多くの皆さま、地域の方々に支えていただき、心より御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックは、秋田の経済活動にも大きな打撃を与え、さらに急激な円高による物価上昇は、私たちの暮らしに深刻な影響を及ぼしています。

加えて、ウクライナ危機を発端とした燃料コスト増加は低廉かつ安定的な電力供給にも多大な影響を及ぼし、エネルギー安全保障に対する関心も高まっております。

秋田県の豊富なエネルギー資源を活かすためにも、洋上風力発電などの再生可能エネルギーの開発を進めるとともに、原子力発電や他の電源特性も考慮しながらエネルギーのベストミックスの必要性を県政の場で訴求してまいりました。

また、秋田県は人口減少問題の克服に向けた取組みをはじめ、新型コロナウイルス感染症の拡大やカーボンニュートラルへの対応など社会経済情勢の変化に対応する取組みを盛り込んだ、新たな県政運営の指針となる「～大変革の時代～　新秋田元気創造プラン」を策定し、課題解決に向けて取組んでおり、私自身も秋田県議会議員1期を通して、人口減少、高齢化社会、エネルギー政策などの課題解決に取組んでおります。

持続可能な社会と暮らしの仕組みづくりで、秋田の価値を高め、「強く、優しく、豊かで活気ある秋田の未来づくり」「今と次の世代のための未来づくり」を、皆様と一緒に実行することを約束いたします。

今後も県政発展と県民福祉の向上のため、精一杯活動してまいりますので皆様からの力強いご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

本年も皆さまにとりまして輝かしい一年となりますよう心から祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

http://torii-osamu.com/ とりいおさむ 検索

今と次の世代のための
未来づくりを、一緒に。

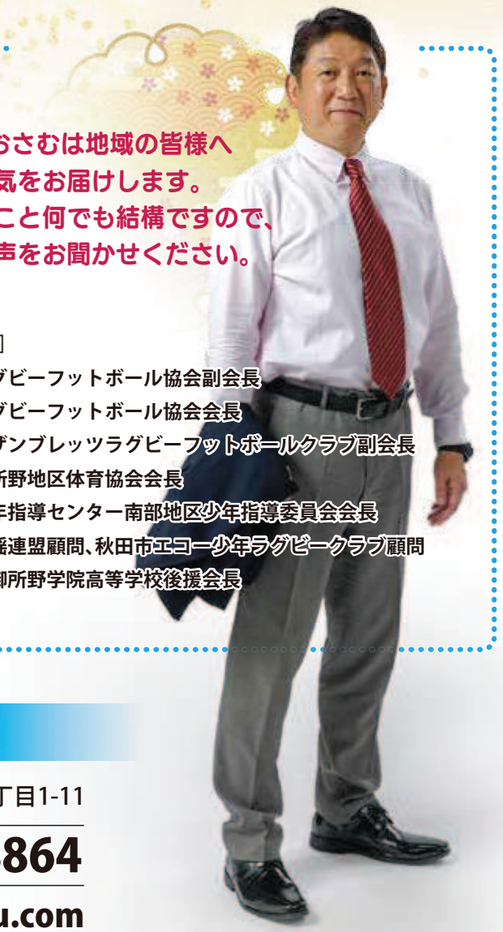
LINE 公式アカウント始めました！

LINE 公式アカウントを作成しました。
LINE お友だちのご登録をいただくと，これまでの活動状況や『鳥井おさむ』の想いがご覧になれます。
また，日々の活動やお知らせを配信いたしますので，ぜひ LINE のお友だち登録をお願いいたします。

登録はこちらから

LINE お友達登録お願いします！

鳥井（とりい）おさむ PROFILE



鳥井おさむは地域の皆様へ
元気をお届けします。
日頃思うこと何でも結構ですので、
皆様の声をお聞かせください。

多角的な視点
東京で生まれ22年、秋田で暮らして32年、秋田の魅力、資源、文化を独自の感性で発信していきます。

専門的な知識
エネルギー分野で働いてきた経験を次世代エネルギーの推進に活かして、秋田の地の利を強化します。

培ってきた推進力
小中校は野球、高校から社会人までラグビーを続けたスキルで地域振興や健康長寿社会を展開します。

◎昭和42年10月6日　東京都府中市生まれ
◎妻：晴弥　長女：杏弥の三人家族
◎父親：五城目町出身・母親-東京都出身
◎祖父：鳥井森鈴（秋田追分の生みの親）

［主な役職］
秋田県ラグビーフットボール協会副会長
秋田市ラグビーフットボール協会会長
秋田ノーザンブレッツラグビーフットボールクラブ副会長
秋田市御所野地区体育協会会長
秋田市少年指導センター南部地区少年指導委員会会長
秋田市民謡連盟顧問、秋田市エコー少年ラグビークラブ顧問
秋田市立御所野学院高等学校後援会長

鳥井おさむ後援会 会員募集！

鳥井おさむ後援会事務所／〒010-8588 秋田県秋田市中通2丁目1-11
TEL/FAX 018-833-8864
E-mail info@torii-osamu.com

鳥井おさむのオフィシャルHPはこちらから

＊後援会への入会希望やご意見は、お電話・メールにて申し込みください。

発行責任者／佐々木 数也（鳥井おさむ後援会）

秋田県議会議員
鳥井おさむ 定例会での一般質問&答弁

◇日本のエネルギー政策について（令和元年　第３回定例会）

Q. 国民生活や経済・産業活動に不可欠な電力の安定供給とエネルギー安全保障の確保、持続的な経済成長と地球環境保全を達成するためには、原子力も含め、あらゆる選択肢を残すべきと考えるが，今後の日本のエネルギー政策について、どのように認識されているのか。

　また、電気料金の上昇基調に歯止めをかける観点から、安全性の確認された原子力発電所について、順次円滑な再稼働が果たされるよう、国として、責任ある対応が求められると考えますが、知事の御所見をお伺いしたい。

A. 国では、「エネルギー基本計画」において、安全性を大前提とした上で、自給率向上や電力コストの低減、温室効果ガス削減の達成を基本方針とした施策を推進しております。また、2030 年における電源構成のあるべき姿をエネルギーミックスとして示しており、低炭素の国産エネルギー源である再生可能エネルギーを積極的に導入するほか、規制基準への適合が認められた原子力発電所の再稼働を進めることにしている。

　基準適合の原子力発電所の稼働は必要なものと考えているが、将来的には省エネルギー・再生可能エネルギーの導入や火力発電所の効率化などを進めていくことが必要であり、県としましては、国の掲げるエネルギーミックスの実現に向けて、再生可能エネルギーの導入拡大などを中心に、安定的なエネルギー源の確保に努めていく。

◇「秋田ポジティブキャンペーン」の実施について（令和元年　第３回定例会）

Q. 観光を中心とした交流人口の拡大や人口減少対策、産業振興など、プランに掲げる重点戦略の加速化させるには、美しい郷土への愛情を再認識できるよう、県民一人一人が住み慣れた地域に自信と誇りを持ち、秋田のよさを外へ発信していくためにも、県民全員で取り組める施策が必要であります。

　県民が郷土に愛着を持ち、気持ちをポジティブに変えて、秋田の魅力発信を県民全員で取り組める、仮称「秋田ポジティブキャンペーン」を実施すべきと考えますが、知事の御所見をお伺いしたい。

A. 本県では、豊かな自然や食、伝統文化など特色のある財産を持ちながら、これを十分に発信できていないのではないかとの思いがあったことから、秋田の統一的なイメージ形成とその周知を目的に、平成二十二年度から「あきたびじょん」の取り組みを進めてきた。

　私が目指す「高質な田舎」の実現に向けては、美しい自然環境の保全や産業経済の振興など、外形的に本県の価値を高めていくことにとどまらず、県民一人一人が、秋田の真のすばらしさを実感し、郷土への誇りと愛着を持って暮らす地域となることが欠かすことができません。このため、今後も、普段意識されることの少ない「誇れる秋田」の情報に光を当て、これを県民としっかり共有しながら継続的・能動的に県内外へ発信していく必要があるものと認識しており、その取り組みはおのずと議員御提案の「秋田ポジティブキャンペーン」の趣旨とも合致するものと考えている。

◇エネルギー政策（電気料金高騰）について（令和４年　第２回定例会）

Q. 原油高、円安に加え、再エネ賦課金の上昇は，電気料金の値上がりの要因である。県は再生可能エネルギーの導入拡大と低廉な価格の電気を望む企業の要望をどのように両立していくのか？

A. 再エネ電力を求める県内企業に対して、県営水力発電所で発電した電気を低廉な価格で供給することで県内企業の再エネ導入の支援をしたり、自家消費用の太陽光発電設備を支援するモデル事業により、県内企業による再エネ電力の利用を推進している。

　また、県内中小企業が行う生産性向上を目的とした設備投資や省エネルギー設備の導入による消費電力の削減を支援することにより、電力コストの負担軽減を図っている。

その他の提言項目

- 高齢者自殺予防緊急対策について（令和元年福祉環境委員会）
- 野生鳥獣被害防止対策事業について（令和元年福祉環境委員会）
- 洋上風力発電の導入について（令和元年第３回定例会）
- 「スポーツ立県あきた」の推進とスポーツによる交流人口の拡大について（令和元年決算特別委員会）
- 多様な連携によるインバウンド誘客の推進について（令和元年第３回定例会）
- アフターコロナを見据えた新たなビジネスチャンスについて（令和２年第１回定例会）
- 次世代自動車産業の育成と普及拡大について（令和２年第１回定例会）
- 日本のエネルギー政策について（令和２年第２回定例会）
- 洋上風力発電について（令和３年第１回定例会）
- 県都の賑わい創出について（令和３年第１回定例会）
- 道路の無電柱化について（令和３年第１回定例会）
- カーボンニュートラルへの取組みについて（令和３年第１回定例会）
- コロナ禍の県政運営について（令和３年決算特別委員会総括審査）
- 新県立体育館の整備等について（令和４年第１回定例会）
- 洋上風力発電（地元貢献策）について（令和４年第１回定例会）
- 脱炭素社会の実現に向けた政策について（令和４年第１回定例会）
- ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた地域の持続可能な発展に向けた取組について（令和４年第１回定例会）
- 電力需給ひっ迫について（令和４年第１回定例会）
- インバウンド需要の獲得について（令和４年第２回定例会）

鳥井おさむのこれまでの歩み Action

打開！人口減少
若者の雇用と福祉の整備を強化！

- 秋田県では全国平均を上回るスピードで少子高齢化・人口減少が進んでおり、2020年の国勢調査では、５年間の人口減少率が6.2%となり、５回連続で　全国最大となりました。

　鳥井おさむは、議会を通して魅力的な雇用の場の確保や子育て環境の改善など、人口減少打開に向けた施策を秋田県に訴えております。

育成！未来担う人材
「秋田で働くこと」を促進！

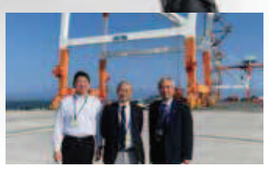
- 人口が流出する大きな要因のひとつに、「雇用機会の不足」が挙げられます。若者にとって魅力的な就業機会が地方に不足していることが、地方から東京圏への若者の流出を招いていると考えられます。この課題解決のため、今後の成長が見込まれる産業への設備投資の支援や育成を県政の場で訴えかけてきました。
- 次世代産業が進んでいる現場を視察し、秋田で取り入れるべきものを模索するなど産業の育成に取り組んでおります。

創出！高齢化社会の絆
生涯スポーツで健康寿命を伸ばす！

- 鳥井おさむは、小中学校では野球を、また高校から社会人までラグビーを続けた経験から、小中高生へスポーツ指導を行いながら、県政の場においてトップスポーツへの支援を訴えております。
- 高齢化が進む秋田において「健康寿命を延ばす」ことが課題であると考え、地域振興や健康長寿社会につながる様々な活動を展開し、スポーツ王国秋田の復活と誰もが元気で安心して暮らせる秋田を目指しております。
- 県立体育館の早期建替えや市スポーツ施設の整備に取り組んでおります。

発展！産業と雇用
自然エネルギーの可能性

- 秋田では洋上風力などの再生可能エネルギーの開発が盛んに行われており、この他にも太陽光・地熱といった豊富なエネルギー資源の可能性を秘めていることから、鳥井おさむはこうした産業の発展に取り組み、経済盛業を後押ししてまいりました。一方で、再生可能エネルギーだけではエネルギーの均衡が保てないことから、電力に関わる分野で培ってきた知識と経験を活かし、エネルギーのベストミックスを訴えてきました。
- 農林水産業の6次産業化や県内で生産量の多い杉の原木輸出も視野に入れた港湾整備を提言するなど、産業と雇用の発展に取り組んでまいりました。産業の発展が雇用の確保につながることから、これからも切れ目のない経済支援に取り組みます。
- 新型コロナウイルス感染症パンデミックにおいては、県内経済を下支えする支援に取り組んでおります。
- 県民が郷土に愛着をもち、県民全員で秋田の魅力を発信する取り組みを実施しております。


会派県外調査で鹿児島県志布志港を視察

第2回議会活動に関する若者との意見交換会を実施

議会で議案や県政に対する質疑を行う

会派県内調査で平鹿地域十文字メガ団地・ほうれん草生産現場を視察

県内高校生を対象に実施した秋田ノーザンブレッツのラグビークリニックで副会長として挨拶

ロシアのウクライナ軍事侵攻に対する緊急集会に参加し挨拶

秋田民謡碑まつりに来賓として参加し挨拶

外旭川にラグビーも使えるスタジアムの建設について秋田市へ要望書を提出